

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力を伝えています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

健康新聞

発行所
発行人



新健康協会

〒813-0001

福岡市東区唐原6-7-1

TEL:092-661-1531

<https://shinkenko.jp>



次の御論文は、明主様（当協会の教祖）が、昭和二十六年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

自分の悪に勝て

私はこの前、悪に勝つという論文を書いたが、これは悪人に負けてはならないという意味であつたが、今度は他人事ではなく、御自分の肚の中にある悪に勝たなくてはならない、という事を書いてみる。およそいかなる人間でも、肚の中ではいつも善と悪と闘つてゐる。つまり仏教でいう煩惱を押えつけようとする戦いである。何しろ人間の欲にはキリがないから、ヤレ金が欲しい、女が欲しい、勢力を得たい、名譽が欲しい、わがままがしたい、というような悪の奴が始終頭を持ち上げようとするので、そやつを押えつけようとする。そんなことをしてはいけない、気をつける、もしやつたら酷い目にあわしてやるぞといつて善玉が押えつける。また善玉は人を喜ばせろ、他人様がみんな幸福になるように

犯し、不幸を生み、善が勝てば幸福を生むのは、まさに判然としているんだから訳はないようだが、人間はそれが分かつていて実行ができない。特に無信仰者程そうである。そこへゆくと信者はよく知っているから、悪に負ける事は極めて少ない。とはいものの、実は容易な業ではない。勿論悪をさせるのは副守護神であり、善をさせるのは正守護神であるが、それ以上絶対善の命令者が本守護神であるから、結局本守護神の威力を増すようになる事で、これが根本的悪を征服する力である。だから人間はこの力を育てるよう常に心がけるべきで、その唯一の方法が神様をおがみ、信仰を徹底させる事である。これ以外に幸福者となる方法はないのである。

それからも淨靈を続け、平成十一年、息子たちが独立したことをきっかけに、福岡から阿蘇の産山村に移住し、農業を始めました。



私は、昭和五十五年、当時九歳だった息子（次男）のアトピー性皮膚炎がきっかけで新健康協会に御縁を頂きました。息子がしきりと痒がつてましたので、会社の先輩から「淨靈を受けてみたら…」と声を掛けられました。私はそのことを夫に話すと、それで治るなら良いんじゃない：ということで淨靈を受けるようになりました。

早速、一週間先輩の所に通つてみると、嘘のように湿疹は良くなり、皮膚もきれいになりました。私は、淨靈で良くなつていく息子の姿に感動し、支部にも行くようになりました。そして、昭和五十五年十二月二十一日に三十五歳で入会しました。

これは、平成二十四年七月十二日の体験です。

集中豪雨で畑が崩れ、椎茸の原木も崩れ落ちてしまつたので、機械で原木を引き上げていました。すると突然、ワイヤーロープを巻きとる部分に右の手から肘までの部分が巻き込まれてしましました。すぐにその場で夫から淨靈を受けました。その後、車で熊本支部に行き、淨靈を二回受けました。翌日、皆さんから「痛くて眠れなかつたでしょ…」と言われたのですが、全く痛む事なくぐつりと眠れ、ケガも短時日で良くなりました。ワイヤーロープに巻き込まれて命を落とす人も多いと聞きますので、本当に有難かったです。

最近では、運転免許証更新時に視力検査をしたのですが、一回目は検査に通らず、十分後に再検査となつたので、頭を淨靈しながら待つていました。すると、二回目の検査では問題なく合格となりました。少しの淨靈でもこうして良い変化を頂けるので本当に有難いです。

（熊本県阿蘇郡）

しろ、と言つてどこまでも善惡が闘つて闘つて闘いぬいているのが、万物の靈長様のあるがままの姿だ。

アトピー・ケガ 淨靈に出会い 有難い日々：

熊本支部 瀧 良子（80）

浄靈体験記 2ページ 3ページ

- ひどい眩暈と耳鳴り 浄靈で不安もない：
- 音が聞こえる… 突然の快復に驚き…
- ガンが消えたまさに奇跡…

淨靈によつて病苦から救われると共に運命が向上し、幸せになられた方々の体験手記でございます。

メニエール病？

ひどい眩暈と耳鳴り
淨靈で不安もない…

久留米支部
諸富栄治 (64)



私は、父母が新健康協会の会員であつたため、生まれた時から淨靈を受けて育ちました。以前から左の耳下腺が痛むことがありますたが、あまり気にしていませんでした。ところがその年の六月に耳かきをしていた時に、急に左耳が塞がりました。耳聴力が半減しました。最初は驚きましたが、直ぐに良くなるだろう…と、考えていました。ところが、七月になつてもその状態が続いていました。七月十六日の朝、目が覚めると、何なく頭や体に異常を感じました。そ

れで起きあがろうとした途端、天井がぐるぐる回転しました。これは眩暈だと思いゲットと目をつぶりました。それから何度も体を起こしますが、起きることが出来ませんでした。私は自分で淨靈をし、体を起こしました。この時、右に寝返りしてもなかなか起き上がれなかつたので、左に寝返りして起きてみたところ、眩暈もなく起き上がれました。思わず良かつた…と思いました。

エール病のような症状は初めての体験でしたが、今までも淨靈で健康になつてますので、この症状に対しても不安もありませんでした。

聴力半減と酷い眩暈…まるでメニエール病のような症状は初めての体験でした。私は六十四年間淨靈を受け、無医薬で過ごしていますが、それは、私の両親が淨靈で尊い命を頂いたからです。父は胃と心臓の病気で、戦時中兵隊に召集されない程の虚弱者だったのが、戦後、淨靈に御縁があり、健康になりました。

私は六十四年間淨靈を受け、無医薬で過ごしていますが、それは、私の両親が淨靈で尊い命を頂いたからです。父は胃と心臓の病気で、戦時中兵隊に召集されない程の虚弱者だったのが、戦後、淨靈に御縁があり、健康になりました。

母は腎臓の病気のため、十九歳の時に「余命一年」との死の宣告を受けたにもかかわらず、淨靈で健康になり、七十四歳まで長生きしました。

母の淨靈体験により、祖父母も淨靈を受けるようになり、元気に過ごすことが出来ました。今では私の子供たちも淨靈で日々元気に過ごしています。

親子四世代で明主様の御守護を賜り、心より感謝申し上げます。これからも淨靈で日々元気に過ごしています。

明主様、誠に有難うございました。

(福岡県久留米市)

は、かすかな耳鳴りと、聴力の若干の弱さがありますが、普段の生活に何ら支障はありません。本当に有難いです。

家族皆淨靈で救われた…

ストレス・難聴？

私はこのままではいけない…と思いまして、志免支部に行ける日は淨靈を受けなつてしましました。

私はこのままではいけない…と思いまして、志免支部に行ける日は淨靈を受けなつてしましました。

突然の快復に驚き…

志免支部
友利望愛 (15)



明主様、誠に有難うございました。

(福岡県糟屋郡)

私は、祖母も母も新健康協会の会員です。生まれた時から淨靈を受け育ちました。これは去年のことです。七月も終わりに近づいた頃、精神的に辛い状態になりました。ストレスが溜まり、食欲もなく、睡眠も取れなくなつて体がとても辛かったです。淨靈を受けるため志免支部へ行こうと思つたのですが、なかなか行く気分になれず、家で母から淨靈を受けていました。

すると八月になつて、今度は耳が聞こえなくなりましたので、病院に行くことにしました。すると「全く聞こえてない状態なので入院になるかもしない…」と医師に言われました。その後、大きな病院を紹介され、脳波の検査をすると、「まだ聞こえる力が残っている…」と医師から言われ、薬も処方されず、入院にもなりませんでし

た。しかし、私は高校入試を控えていましたので、授業がまともに聞けないことが不安になり、学校にも行けなくなりました。

私はこのままではいけない…と思いまして、志免支部に行ける日は淨靈を受けなつてしましました。

淨靈

淨靈は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

淨靈によって魂は清浄化され、肉体が健康になつています。

まずは試されてみてはいかがでしょうか。



ガンが消えた
まさに奇跡…

千葉支部
古関泰イ子 こ
(70)



私が新健康協会に御縁を頂いたのは、息子（長男）の病気がきっかけでした。昭和六十一年、息子が小学一年生の時、冬休みを利用して、当時住んでいた仙台から実家のある東京に行き、年末年始を過ごしていました。その時に息子が熱を出したのですが、四十度以上の高熱が続いたので心配になりました。すると、病名も付かず、医師より「仙台に帰つたら検査を受けるように…」と言われました。帰宅後、市立病院へ行きました。帰宅後、市立病院へ行きました。そこで、そこでは一ヶ月間程入院し、あらゆる検査を受けましたが、やはり原因が分からぬといふことでした。そこで結局ステロイド剤を使つての治療となりました。その後、なんとか退院は出来ました。

それから三年が経ち、平成元年、息子が小学四年生（九歳）になつた頃、夫の仕事の関係で仙台から千葉に引っ越しました。

中西伸子さんとの出会い…

談の時に、中西さんから声を掛けてきました。息子の症状を話している間に、中西さんの家にお邪魔する機会頂きました。その時に新健康協会と、净靈協会を伺いました。私は自分一人では申しますので、平成三年三月末、中西さんと私と子ども二人で千葉支部にきました。当時、小学一年生だった娘が登校拒否で、私も精神的に辛くなっている時期でもありましたので、子どもも净靈を受けてみようと思つていました。

入会して十三年後の平成十六年二月、私が四十九歳の時、入浴中に左脳の内側に直径三センチ程のベーゴマのような形をしたシコリに気付きました。病院で検査を受けたところ「乳ガン」と告げられました。後日エコー検査をするので、また病院に来て下さいと言われ、自宅に帰りました。私はショックでしたが、エコー検査までの間にしつかり净靈を受けようと思い、自分でも净靈しましたが、中西さんも净靈をして下さいました。

その後、検査を受けると、検査技師からは「悪性の可能性は低い」と言わされました。が、担当医からは「悪性です。乳ガンは石灰質のようにならざらしたシコリが特徴で、手術してしまえば何ともありません」と手術を勧められました。しかし、私は「手術は怖い

乳ガンの宣告…

間にか朝晩に「明主様 どうぞお守り
くださいませ」と必死にお願いするヒ
ュになつていました。そして「入会し
て淨靈を受ける以外に考えられない
：」という思いになり、平成三年十一
月二十三日、三十六歳で入会しました。
その後、毎日の淨靈の甲斐もあつ
て、子ども達は皆元気になり、無事に
成長することが出来ました。

じた：ということはなかつたのです
が、息子に処方されていた薬がものす
ごいピンク色で、当時、着色料も良くな
い：という話も聞いていましたの
で、薬をあまり服用させたくないヒ
思つっていました。そんな思いがあつた
のと、子どもたちも春休みでしたの
で、毎日支部に行くようになりました

「で、今日はとりあえず家に帰らせてください」と話し、帰宅しました。この時はガンに対する怖さが勝っていたのですが、それも一瞬のことと、その後はとてつもない大きな力に後押しされたかのように「明主様にお任せし、淨靈を受けよう」と決意しました。今、思い返しても不思議な瞬間でした。

それからは、週に一度、支部に行き、支部で三回ずつ淨靈を受け、平日の夜は近所におられる中西さん宅で淨靈を受けました。その頃、淨靈を受けると、背中の左半分が燃えるように熱くなり、背中が高く盛り上がっている感じでした。意識は冴えているのですが、身体はとても怠くて口も利けませんでした。それでも毎日元気で食欲があり、仕事も続けることが出来、全て前向きに考えられていたことも不思議な体験のひとつです。明主様の御守護です。

アキレス腱を切った?
乳ガンも同時に良くなる…

その年の十月、バレーボールをしていたら、右足のアキレス腱の一部を切ったようで、後ろから蹴飛ばされたような痛みを感じました。すぐに淨靈をし、何とか落ち着いたのですが、足を引きずつたり、杖をついて歩いたり…という状態でした。

このこともあって、更に一生懸命淨靈を受けるきっかけとなり、たくさん淨靈を受けるようになりました。

次第にアキレス腱の状態が良くなると共に、左胸のシコリは円錐形から少しづつ形を変えて平らになつて小さくなり、二年程で完全に消えてなくなりました。まさに奇跡です。

净化作用

人間には体内の毒素（= 不純物）を排除して健康を促進しようとする働きがあります。例えばカゼの場合、体内にあってはならない毒素を溶かすために熱が出てきます。溶けた毒素が鼻水やタンとなって排出されるので体の中が掃除され、清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。浄化作用は、熱や痛みを伴うので苦しみがありますが、体を健康にする大切な清掃作用でもあるのです。

支部での淨靈はもちろんのこと、中西さんからも毎日淨靈を受けられたことや、家族の理解を得られたこと等、全てが明主様のおかげで命の継ぎ足しを頂けました。このことがあって夫も平成三十年十二月十七日、六十八歳で入会しました。

一人でも多くの方に明主様の淨靈の素晴らしさをお伝えしなくては…と思いまい、毎月、健康新聞の配布も行つておられます。とても信じられないと思いますが、これは事実です。是非、淨靈を体験していただきたいです。

